

米軍のために
海外で血を流す
自衛隊に

安倍改憲 NO!

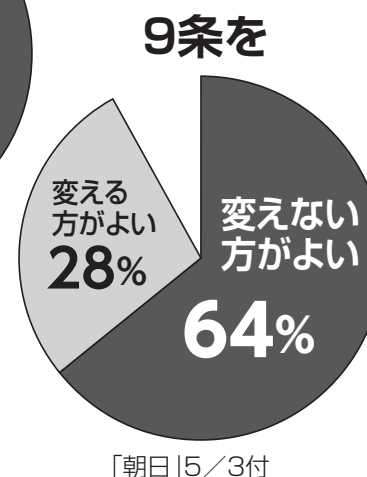
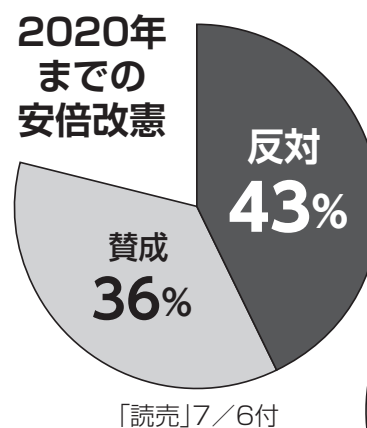
“憲法に自衛隊を書き込む”という安倍首相。かつて自著に「軍事同盟とは“血の同盟”」「日米安保条約を堂々たる双務性にしていく」と書きました。“米軍を守るために日本が戦わないのは不公平だ”というトランプ大統領と同じです。海外で米軍のために若者の血を流させる—これが9条改憲の目的です。

国民の願い実現で野党は結束

国民の大多数は、9条改憲に反対です。自衛隊を海外の戦場に送りこみ、命の危険にさらす安倍改憲は絶対許さない—この一致点で、野党は結束しています。安倍首相が“自衛隊の違憲・合憲で、野党はバラバラ”と野党共闘を攻撃するのは、戦争する国づくりにとって市民と野党の共闘がなによりも怖いからです。

対案は「日本国憲法」です

いま変えるべきは憲法でなく、憲法を踏みにじってきた安倍政治です。9条を生かした平和外交、25条の社会保障、26条の教育を受ける権利…、力をあわせて、この憲法を実現していきましょう。



9条生かした 平和外交を

日本共産党

朝鮮半島の非核化と平和体制の構築をめざす劇的な変化が起こっています。いま求められているのは憲法9条を生かした平和外交です。

日本共産党は、紛争を話し合いで解決することを参加国に義務づけるルールを土台に、東南アジア諸国連合（ASEAN）のような平和の共同体をつくる—「北東アジア平和協力構想」を提唱しています。

イラン沖 自衛隊派兵許されない

米政権がイラン沖に「有志連合」をつくと表明し、日本の対応が問題になっています。イランをめぐる

危機は、アメリカが核合意から一方的に離脱したことが始まり。自ら危機をつくっておきながら、軍事的対応に乗り出すことはまったく道理がありません。日本共産党は、自衛隊派兵には絶対に反対です。

維新 改憲突撃隊

維新の会は、一貫して安倍首相の改憲策動のお先棒をかついできました。

吉村大阪知事「(改憲を)ボカンと国会でやりたい」

「維新は改憲に必要な3分の2の勢力の中に入る」とし、吉村大阪府知事は「憲法改正を一生懸命にやらないのが自民党。情けない。ダイナマイトみたいにボカンと国会でやりたい」などと、改憲をけしかける発言をしています。

松井代表「(野党は)国民を愚弄」と攻撃

松井代表は、安倍改憲に反対する野党を「国民を愚弄するものだ」と攻撃し、改憲の発議をおこなう憲法審査会の開催を煽っています。まさに安倍改憲の「突撃隊」です。